



<楽しいうた、いっぱいうたって！>

子どもがぐずりだした時、抱っこをしながら、自然と口ずさむ歌があります。

「ね～んね～んころ～り～よ」などとゆったりしたリズムの“子守唄”と呼ばれる歌です。五木の子守唄や、島原の子守唄など、全国各地に様々な歌がありますし、また、外国にも、シューベルトやモーツァルトの子守唄など、有名な歌があります。子どもたちはその歌声を聴きながらウトウトし始め、安心して寝付いていきます。

自分自身も、母や祖母から子守唄を歌ってもらった記憶があるので、自然と親しんでいたように思います。皆さんも、記憶の片隅にあるのではないのでしょうか。

お母さんやお父さんは、子守唄を歌っているのでしょうか？最近、寝かしつけのアプリなども、できているようですね。でも、子どもにとっては、普段聴きなれたお母さんやお父さんの優しい声が何よりうれしいことだと思います。子守唄を歌ってもらったり、お話を聴かせてもらいながら優しく背中をさすられ、寝付くことができるのは、幸せなことですね。

また、子守唄に限らず、子どもたちは手遊び歌や、童謡も大好きです。『げんこつ山のたぬきさん』や、『ぐーちょきぱー』、『とんとんひげじいさん』など、たくさんの楽しい手遊びがあり、まだ言葉が出ない子でも、動作を覚え、楽しむことができます。歌に合わせて、指先を開いたり、握ったりし、手を打ち合わせたりと、手先を動かすことで、脳への刺激にもなります。また、頭、肩、膝や目、耳など、歌詞の中に身体の部分や動物など身近なものが出てくるので、歌いながら、自然と名前を覚えていきます。

童謡には、『チューリップ』『おつかいありさん』『アイアイ』など、自然や動物の出る歌、『バスのうた』『アイスクリームのうた』など、身近なものをテーマにした歌もいっぱいあり、歌うことで、楽しい気分になさしてくれます。ぐずって泣いていた子どもが、歌を歌ってもらうことで泣き止み、ニコッと笑顔になることも多いです。

また、日本には四季があり、四季折々の童謡もたくさんあります。『春の小川』『うみ』『もみじ』『雪やこんこ』など、昔からあるこれらの歌は、題名を聞いただけでその情景が浮かんでくるような気がします。大切に歌い継いでいきたいですね。

また『パプリカ』など、最近の歌は、アップテンポで楽しい曲が多く、とても魅力的です。歌に合わせてダンスを踊ったり、身体を動かして楽しめる曲がたくさんあります。

様々な歌を、お子さんと一緒に楽しみながら歌い、子どもたちに心地よい記憶として残っていくといいですね。

(文 ここすき！プロジェクト保育士)